

北極海法秩序の将来設計

開催日：2016年7月28～29日

場所：神戸大学六甲台キャンパス

事前参加登録が必要です

お問い合わせ先：<kobe_symposium2016@diamond.kobe-u.ac.jp>

※本シンポジウムはすべて英語で行われます。通訳はありません。

7月28日（木）

受付: 9:30-10:00

主催者 挨拶 10:00-10:15

基調講演 10:15-11:15

白石和子（外務省北極担当大使）日本の北極政策とその課題

Alexander Sergunin 生成しつつある北極海法秩序にむけたロシアのアプローチ

第1セッション 北極海法秩序形成のアクター（パネルディスカッション） 11:30-12:30

パネリスト:

Paul Arthur Berkman 北極海における共通利益の構築

大西富士夫 北極海法秩序形成の新たな手法

昼食（大学の食堂が利用できます）

第2セッション：北極海法秩序形成のフォーラム 14:30-18:00

Brian Israel 北極海洋協力の将来における形式と機能

森下文二 北極公海における新たな漁業管理機関の展開

Tore Henriksen 北極海ガバナンス（の将来）への制度的アプローチ

コーヒー・ブレイク

討論

ディスカッサント:

Kamrul Hossain 北極法制度の展開における先住民と規範形成

西本健太郎 コメント

レセプション（於：大学レストランさくら）：18:30-20:30

7月29日(金)

開場: 9:00 -

第3セッション: 普遍主義の中の地域主義 9:30 - 12:00

Viatcheslav Gavrilov 北極における将来の法的展開: 前提と展望

柴田明穂 国際北極科学協力推進に関する新協定の下での海洋科学調査:
断片化か統合か?

コーヒー・ブレイク

討 論

ディスカッション:

菊地 隆 変化している北極海に関する科学的現場観測と国際共同研究: 過去、
現在、未来

昼 食 (大学の食堂が利用できます)

第4セッション: 生態系アプローチ 13:30 - 16:00

Betsy Baker 北極における広域海洋生態系と生態系に基づく管理に対する
近隣アプローチ

Suzanne Lalonde 海洋保護区に関する汎北極ネットワークの枠組:
今後の課題と評価

コーヒー・ブレイク

討 論

ディスカッション:

稲垣 治 北極海中央部における生態系評価のための制度間協働

山村織生 北極海生態系に関する日本の研究

コーヒー・ブレイク

第5セッション: 今後の研究の展開 (パネルディスカッション) 16:30-17:00

パネリスト:

Hannu Halinen Arctic Futures Initiative (AFI)との共同研究の可能性

大村 纂 科学者からのコメント

まとめのパネルディスカッション 17:00-17:30

メインスピーカー及びディスカッサントの略歴

白石和子: 外務省北極担当大使

Alexander Sergunin: 神戸大学日本学術振興会招聘研究者・国際協力研究科招聘教授(2016年7-8月)、ロシア・サンクトペテルブルク大学国際関係歴史学部教授

Paul Arthur Berkman: 米国・タフツ大学フレッチャー法律外交大学院教授、ベルモントフォーラム・Arctic/Pan-Arctic Options 研究プログラム代表

大西富士夫: 日本大学国際関係学部助教

Brian Israel: 北極評議会北極海協力タスクフォース(TFAMC)共同議長、米国国務省法律顧問室海洋・国際環境・科学担当

森下丈二: 東京海洋大学海洋政策文化学部門教授、A5+5 北極海中央部漁業交渉日本国代表団長

Tore Henriksen: 神戸大学大学院国際協力研究科客員教授(2016年7-9月)、ノルウェー北極大学(UiT)教授、ジェブセン海洋法センター長

Kamrul Hossain: フィンランド・ラップランド大学北極センター准教授、北方環境・マイノリティー法研究所(NIEM)所長

西本健太郎: 東北大学大学院法学研究科准教授

Viatcheslav Gavrilov: ロシア・極東連邦大学法学部教授

柴田明穂: 神戸大学大学院国際協力研究科教授、極域協力研究センター長

菊地 隆: 国立研究開発法人海洋研究開発機構・北極環境変動総合研究センター長代理

Betsy Baker: 米国・バーモント法科大学院教授

Suzanne Lalonde: カナダ・モントリオール大学法学部教授

稲垣 治: 神戸大学大学院国際協力研究科極域協力研究センター特命助教

山村織生: 北海道大学大学院水産科学研究院准教授

Hannu Halinen: 国際応用システム分析研究所(IIASA)所長特別顧問、
Arctic Futures Initiative 共同議長、元北極上級実務者会合(SAO)フィン
ランド代表

大村 纂: ArCS 評議会議長、スイス連邦工科大学名誉教授